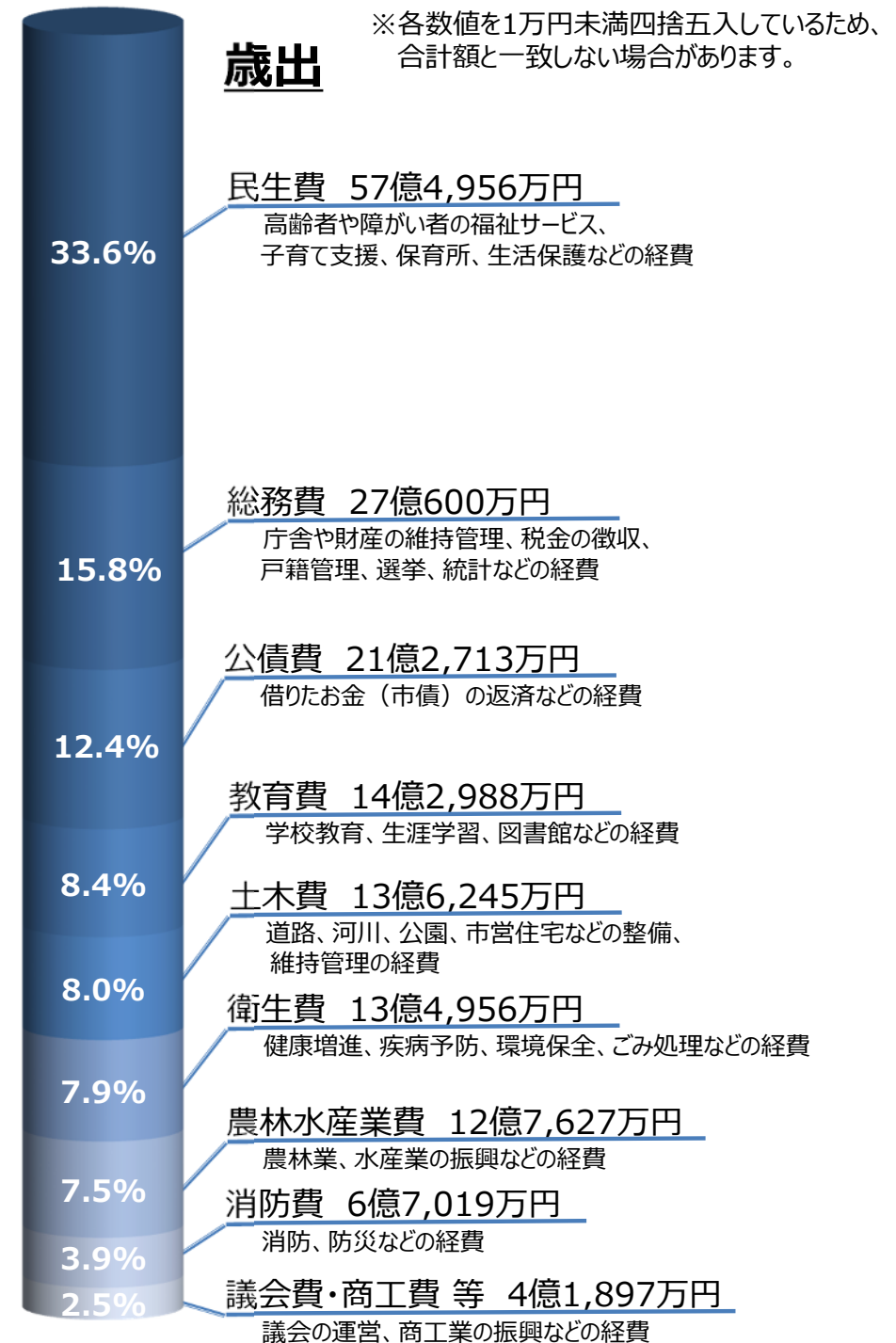
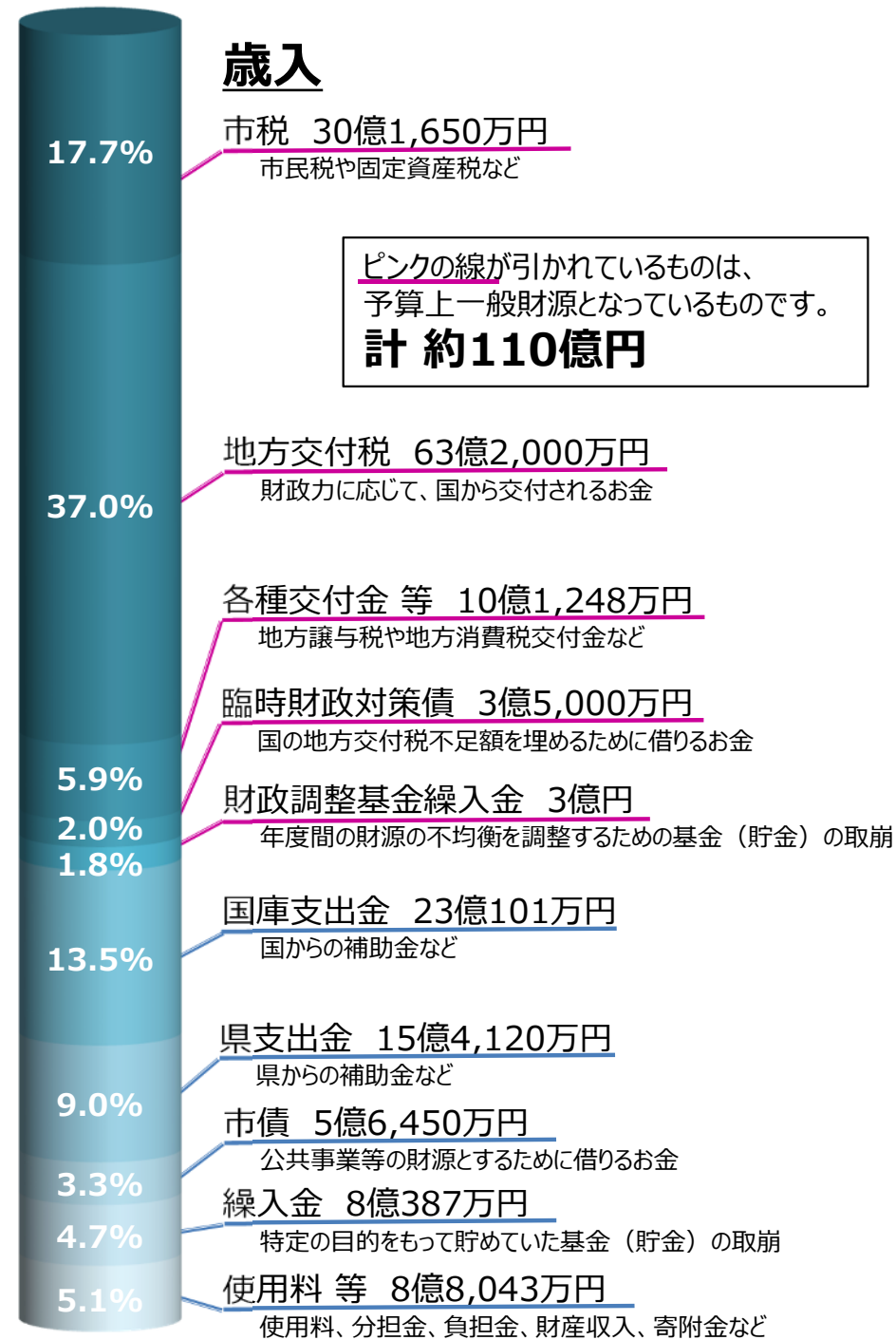


令和 2 年度 緊急財政対策説明資料 (概要版)

杵 築 市



令和2年度行財政改革予算 170.9億円（前年▲30億円）

P.2

令和2年度に必要な一般財源額は、109億9,899万円です。
昨年度に比べ、11億9,245万円削減しました。

※各数値を1万円未満四捨五入しているため、
合計額と一致しない場合があります。
※▲はマイナスを意味しています。

	R2当初 予算額①	H31当初 予算額②	増減額 ①－②		R2当初 一般財源額③	H31当初 一般財源額④	増減額 ③－④
議会費	1億7,022万円	1億8,270万円	▲1,249万円	議会費	1億7,022万円	1億8,270万円	▲1,249万円
総務費	27億 600万円	29億2,233万円	▲2億1,633万円	総務費	14億1,381万円	17億2,013万円	▲3億 632万円
民生費	57億4,956万円	56億2,635万円	+ 1億2,320万円	民生費	27億6,427万円	28億4,752万円	▲8,324万円
衛生費	13億4,956万円	14億3,825万円	▲8,870万円	衛生費	12億3,445万円	13億2,347万円	▲8,902万円
農林水産業費	12億7,627万円	16億2,813万円	▲3億5,186万円	農林水産業費	6億5,493万円	7億6,788万円	▲1億1,294万円
商工費	2億3,535万円	2億1,459万円	+ 2,076万円	商工費	1億1,931万円	1億4,716万円	▲2,785万円
土木費	13億6,245万円	15億3,210万円	▲1億6,965万円	土木費	6億7,144万円	7億7,991万円	▲1億 846万円
消防費	6億7,019万円	6億7,929万円	▲910万円	消防費	6億3,419万円	6億2,201万円	+ 1,218万円
教育費	14億2,988万円	35億2,959万円	▲20億9,970万円	教育費	12億2,638万円	14億8,900万円	▲2億6,262万円
災害復旧費	265万円	2,644万円	▲2,380万円	災害復旧費	265万円	2,644万円	▲2,380万円
公債費	21億2,713万円	22億8,024万円	▲1億5,310万円	公債費	20億9,658万円	22億5,523万円	▲1億5,865万円
予備費	1,076万円	3,000万円	▲1,924万円	予備費	1,076万円	3,000万円	▲1,924万円
計	170億9,000万円	200億9,000万円	▲30億円	計	109億9,899万円	121億9,144万円	▲11億9,245万円

削減内容の説明（目的別）

1. 主に市民の皆様に影響が出る項目を記載しています。
2. この資料における人件費とは、一般職員、再任用職員、会計年度任用職員（旧嘱託、臨時職員）にかかる給与等のみとなります。
3. 金額は1万円未満を四捨五入しています。
4. 一般財源とは、使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源（お金）です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。
5. 予算額と一般財源額は異なる場合があります。
例えば100万円の事業を行う場合、国から30万円の補助金が交付される場合、市の実質的な負担は70万円となります。この70万円が一般財源から支払われています。
国や県からの補助金、市債（借金）、使用料等の収入は一般財源に対し特定財源と呼ばれ、使途が特定された財源（お金）となります。
今回の説明資料は予算額から特定財源を除いた一般財源（市の負担）の削減額を示しています。

令和2年度必要な一般財源は1億7,022万円です。
前年度予算に対して、1,249万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
議会運営費	1億1,804万円	縮小	▲745万円	議員報酬を令和2年から令和5年4月まで10%の削減を行います。	総務課	—
議長等の公務旅費	60万円	縮小	▲45万円	会議の参加等を一部見合わせます。	議会事務局	—
各委員会及び特別委員会の行政視察にかかる経費	212万円	休止	▲254万円	議会運営委員会、広報公聴委員会、議会活性化委員会など、特別委員会の行政視察は見合わせます。	議会事務局	—
議長及び議会の交際費	40万円	縮小	▲10万円	20%削減を行います。 交際費の内容についてはHPに公開しています。	議会事務局	—
議会費にかかる人件費	3,722万円	縮小	▲219万円	給料平均カット率5%としています。	議会事務局	20
その他	1,184万円	—	+24万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は14億1,381万円です。
前年度予算に対して、3億632万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
市長及び市の交際費	88万円	縮小	▲19万円	例年減額していますが、さらに削減しました。交際費の内容についてはHPに公開しています。	秘書広報課	—
ケーブルテレビ特別会計に対する繰出金	179万円	見直し	▲1億217万円	令和2年7月からケーブルテレビ基本使用料の見直しを行い、これまで一般会計で行っていたケーブルネットワーク整備費へ充当することで、一般会計の負担減につなげます。また令和2年度は基金を充当します。	秘書広報課	22
法政大学教授による公開講座にかかる経費	0円	休止	▲18万円	令和2年度は民間開催を検討します。	秘書広報課	—
市の重要課題への迅速な対応を図る為に、シティマネージャーを設置するための経費（報酬、家賃等）	281万円	縮小	▲63万円	シティマネージャーの業務日数等を減らし削減します。	秘書広報課	—
市長、副市長の給料、各種手当等	2,107万円	縮小	▲597万円	市長の給料を30%、副市長の給料を20%削減します。期末手当のカットも同様にします。（令和3年10月まで）	総務課	—
庁舎間メール便業務（書類の受け渡し等）にかかる経費	0円	廃止	▲188万円	例年委託をしていましたが、職員で対応します。	総務課	—
副区長に対する報酬	0円	廃止	▲108万円	副区長に対する報酬を廃止しました。	総務課	—
区長便配送業務にかかる経費	0円	廃止	▲174万円	例年委託をしていましたが、職員で対応します。	総務課	—
区長連合会に対する補助金	60万円	縮小	▲40万円	40%の削減を行います。	総務課	—

令和2年度必要な一般財源は14億1,381万円です。
前年度予算に対して、3億632万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
職員厚生会に対する補助金	71万円	縮小	▲82万円	地方公務員法第42条に基づく補助金ですが、削減します。	総務課	—
職員の研修にかかる経費	239万円	縮小	▲175万円	各種職員のスキルアップ研修等への参加を、緊急財政対策として見合わせます。	総務課	—
電算の管理に関する経費	1億9,498万円	見直し	▲2,736万円	保守点検の委託料などを見直します。	総務課	—
交通安全推進協議会に対する負担金	0円	休止	▲17万円	交付先の団体で繰越金が生じているため、負担金支出を休止します。	危機管理課	—
交通安全協会杵築日出支部に対する補助金	150万円	縮小	▲61万円	交付先の団体で繰越金が生じているため、補助金を縮小します。	危機管理課	—
LED防犯灯を設置した区に対する補助金	40万円	縮小	▲133万円	LED化が進んだことから、緊急財政対策として縮小します。	危機管理課	—
杵築市防犯協会連合会に対する補助金	33万円	縮小	▲33万円	交付先の団体で繰越金が生じているため、補助金を縮小します。	危機管理課	—
共有物品の購入にかかる経費 ※市すべての消耗品代ではありません	1,295万円	縮小	▲115万円	ファイルの再利用等の徹底を図り、経費削減に努めます。	財政課	—
交通手段を持たない高齢者等の 利便性を目的としたコミュニティバス の運行経費	315万円	見直し	▲112万円	財源に、補助金や市債（借金）、使用料があるため、一般財源額は小さく見えますが、予算額は5,462万円になります。 令和2年5月から使用料の見直しを行います。	政策推進課 大田振興課	23

令和2年度必要な一般財源は14億1,381万円です。
前年度予算に対して、3億632万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
交通手段を持たない高齢者等の利便性を目的とした乗合タクシーの運行経費	4万円	見直し	▲1,506万円	予算（委託料）は、1,474万円です。運賃を400円から500円に見直しましたが、運行単価が上昇したため、大きな削減にはつながりませんでした。緊急財政対策として基金を充当します。	政策推進課	—
自らの企画提案により公益性が高い事業を行う市民（団体）に対する補助金 ※審査会の採択が必要です。	0円	休止	(▲250万円) 0円	緊急財政対策として事業休止します。昨年度は、基金を充当していたため、一般財源削減額は0円ですが、予算の削減は250万円になります。	協働の まちづくり課	—
地域おこし協力隊にかかる経費（報酬、社会保険料等）	1,560万円	縮小	▲813万円	既存の協力隊員はそれぞれの任期までの活動とし、後任の協力隊員は設置しません。	協働の まちづくり課	—
半農半Xによる新規就農を希望する移住者に対する農業指導等の経費	0円	廃止	▲223万円	事業実績がないため廃止します。	協働の まちづくり課	—
市内において、新規に創業や開業を行う法人又は個人事業者に対する補助金	0円	見直し	(▲240万円) 0円	基金を充当しているため、一般財源額は0円ですが、補助単価等を見直し、予算を前年度540万円から300万円に削減しました。	商工観光課	—
市内のスポーツ施設を利用して実施するスポーツ合宿や大会に参加する団体に対する補助金	0円	休止	▲50万円	緊急財政対策として事業休止します。昨年度は、基金を充当していたため、一般財源削減額は50万円ですが、予算の削減は250万円になります。	商工観光課	—
特定空家を解体しようとする者に対する補助金	200万円	縮小	▲520万円	1件あたりの補助上限を120万円から100万円に縮小しました。予定件数も減少しています。	生活環境課	—
山香ふるさと祭り実行委員会に対する補助金	0円	見直し	(▲300万円)	祭りの在り方を見直し、必要額を補正予算対応します。	山香振興課	31

令和2年度必要な一般財源は14億1,381万円です。
前年度予算に対して、3億632万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
山香夏祭り実行委員会に対する補助金	0円	見直し	(▲122万円)	祭りの在り方を見直し、必要額を補正予算対応します。	山香振興課	30
大田安岐ダム公園（トイレ含む）にかかる経費	0円	廃止	▲64万円	令和2年4月から安岐ダム公園（トイレ含む）を廃止します。	大田振興課	—
横岳夏祭り実行委員会に対する補助金	0円	見直し	(▲48万円)	協賛金を募る等、地元実行委員会の働きにより事業費を精査し、必要額を補正予算対応します。	大田振興課	30
どぶろく祭りイベント実行委員会に対する補助金	0円	見直し	▲46万円	鬚自慢コンクールは、どぶろく祭りと並行して行っていましたが、出場者の固定化などマンネリとなっているため見直します。	大田振興課	31
市議会議員選挙などの経費	0円	終了	▲2,149万円	令和2年度は、現状選挙予定がありません。	選管管理 委員会事務局	—
総務費にかかる人件費	7億4,887万円	縮小	▲4,271万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	4億374万円	—	▲5,632万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は27億6,427万円です。
前年度予算に対して、8,324万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
国民健康保険特別会計に対する繰出金	1億2,760万円	継続	▲491万円	例年どおり実施します。	市民課	—
後期高齢者医療特別会計に対する繰出金	5億8,225万円	継続	▲2,228万円	例年どおり実施します。	市民課	—
社会福祉協議会に対する補助金	500万円	縮小	▲1,400万円	自助努力をお願いし、予算額を縮小します。 緊急財政対策として基金充当し、一般財源削減額を1,400万円とします。	福祉推進課	—
節目の年を迎えられた高齢者に対する祝金や祝品代等	177万円	見直し	▲1,380万円	緊急財政対策として見直します。 見直し後は、100歳を迎えられた方に5万円を贈呈します。	福祉推進課	—
養護老人ホームの措置にかかる経費	9,518万円	継続	+423万円	例年どおり実施します。	福祉推進課	—
障害者総合支援法に基づくサービスにかかる経費	1億9,796万円	継続	+1,643万円	例年どおり実施します。	福祉推進課	—
重度心身障がい者の医療費の扶助にかかる経費	3,475万円	継続	▲169万円	例年どおり実施します。	福祉推進課	—
障がい児の放課後デイサービス等の利用者負担軽減にかかる経費	0円	終了	▲79万円	放課後デイサービス等の普及を目的として支給を始めましたが、年々利用者が増加し当初の目的を達成できたため終了します。	福祉推進課	—
児童発達支援にかかる経費	1,660万円	継続	+229万円	例年どおり実施します。	福祉推進課	—

令和2年度必要な一般財源は27億6,427万円です。
前年度予算に対して、8,324万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
生活保護扶助にかかる経費	1億7,772万円	継続	▲142万円	例年どおり実施します。	福祉推進課	—
山香温泉センターの管理運営にかかる経費	426万円	見直し	▲485万円	大幅な赤字運営となっているため、令和2年7月から、使用料の見直し、営業時間の短縮、休館日の増加等により、改善を図ります。	福祉推進課	26
施設での幼稚園児の通常教育時間外の預かり保育にかかる経費	198万円	見直し	▲142万円	各こども園、幼稚園の委託料を見直しました。	子ども子育て支援課	—
児童手当、児童扶養手当にかかる経費	1億4,384万円	継続	▲90万円	例年どおり実施します。	子ども子育て支援課	—
子どもの保育・教育にかかる経費 子育てのための施設を利用する経費	3億892万円	継続	▲144万円	例年どおり実施します。	子ども子育て支援課	—
保育所等において、放課後児童を受け入れ健全な活動を支援する経費	0円	終了	▲64万円	現在、一部こども園において市内一円の小学校低学年の受け入れを行っていますが、他の事業で補完ができますので、終了します。	子ども子育て支援課	—
介護保険特別会計に対する繰出金	5億3,282万円	継続	+123万円	例年どおり実施します。	医療介護連携課	—
民生費にかかる人件費	4億1,446万円	縮小	▲384万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	1億1,916万円	—	▲3,544万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は12億3,445万円です。
前年度予算に対して、8,902万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
行政と住民のパイプ役として活動している健康づくり推進員の報酬	49万円	見直し	▲58万円	報酬単価の見直しを行いました。	健康長寿 あんしん課	—
健康づくり事業（運動会、ウォーキング等）を行う区に対する補助金	160万円	縮小	▲60万円	補助基準の縮小を行いました。	健康長寿 あんしん課	—
おとなの集団歯科検診にかかる経費	0円	廃止	▲43万円	住民健診時の歯科検診を廃止します。 なお、歯科医院での歯周病健診は引き続き無料で受診できます。	健康長寿 あんしん課	—
高齢者のインフルエンザ予防接種にかかる経費	1,639万円	見直し	▲267万円	他市町の負担内容を参考に、受診者の負担額を増やすことにより、削減します。	健康長寿 あんしん課	—
小児のインフルエンザ予防接種にかかる経費	160万円	見直し	▲160万円	他市町の負担内容を参考に、受診者の負担額を増やすことにより、削減します。	健康長寿 あんしん課	—
20～39歳までの基本健康診査にかかる経費	67万円	見直し	▲51万円	他市町の負担内容を参考に、受診者の負担額を増やすことにより、削減します。	健康長寿 あんしん課	—
乳がんのエコー検査にかかる経費	41万円	縮小	▲303万円	他市町の負担内容を参考に、30代の受診者のみ負担します。40代以上の受診者はマンモ検査負担を継続します。	健康長寿 あんしん課	—
地域における母子保健の知識向上等を図るための母子保健推進員設置にかかる経費	0円	休止	▲24万円	例年活動をしていただいていたが、一時設置を見送ります。	健康長寿 あんしん課	—
健康福祉センター温泉場の運営にかかる経費	0円	見直し	▲362万円	大幅な赤字運営となっているため、令和2年7月から、使用料の見直し、営業時間の短縮等により、改善を図ります。	健康長寿 あんしん課	25

令和2年度必要な一般財源は12億3,445万円です。
前年度予算に対して、8,902万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
健康ふれあいプールの運営にかかる経費	1,966万円	見直し	▲442万円	大幅な赤字運営となっているため、令和2年7月から、使用料の見直し、営業時間の短縮、休館日の増加等により、改善を図ります。	健康長寿 あんしん課	24
健康推進館プールにおける水中運動教室に係る経費	42万円	見直し	▲206万円	受講料を見直すことにより一般財源の削減を図ります。	健康長寿 あんしん課	24
山香病院事業会計に対する補助金等	2億5,703万円	継続	▲465万円	例年どおり実施します。	医療介護 連携課	—
次世代の医療人材の確保や連携強化を図るための経費	0円	休止	▲54万円	影響度の観点から、緊急財政対策として休止します。	医療介護 連携課	—
スズメバチ等を駆除した方に対する補助金	0円	廃止	▲25万円	影響度の観点から、緊急財政対策として廃止します。	生活環境課	—
一般廃棄物（家庭ごみ）を収集するため経費	1億1,949万円	継続	+434万円	5年に1度契約を見直します。人件費の上昇などにより増加します。	生活環境課	—
一部事務組合（秋草葬祭場、藤ヶ谷清掃センター、環境浄化組合）に対する負担金	3億1,229万円	継続	▲1,225万円	例年どおり実施します。	生活環境課	—
衛生費にかかる人件費	2億1,571万円	縮小	▲3,138万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	2億8,869万円	—	▲2,453万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は6億5,493万円です。
前年度予算に対して、1億1,294万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
産業祭・みかん祭り実行委員会に対する負担金	0円	見直し	(▲95万円)	水産まつりとの統合を検討し、必要額を補正予算にて対応します。	農林課	31
市内で生産された稲発酵粗飼料を利用した畜産農家に対する補助金	400万円	縮小	▲237万円	稲作農家には、国の制度による交付金もあり、緊急財政対策として補助単価を縮小します。	農林課	—
畦畔にセンチピードグラスを植栽し畦畔管理を省力化する経費	150万円	縮小	▲150万円	植栽が進んだため予算を縮小します。	農林課	—
杵築ブランドの育成と販路開拓にかかる経費	790万円	縮小	▲528万円	首都圏の外食産業による「杵築フェア」の事業を中止します。	農林課	—
地域活性化センターが農業用機械を整備する経費	0円	休止	▲533万円	地域活性化センターの機械整備を見合わせます。	農林課	—
畜産農家が各種品評会に出品した際の出品手当	69万円	見直し	▲22万円	出品手当の単価を見直しました。	農林課	—
市内繁殖農家が出荷した子牛を購入した肥育農家に対する補助金	75万円	縮小	▲25万円	補助頭数枠を縮小します。	農林課	—
みかんバエの発生防除薬剤を購入した柑橘生産者等に対する補助金	0円	休止	▲120万円	緊急財政対策として購入費3割補助を休止します。	農林課	—
いちごハウスの整備やハウスみかんのフィルム張り替えなどを実施する方に対する補助金	131万円	見直し	▲4,471万円	事業規模は例年並みに確保しますが、緊急財政対策として基金を活用します。	農林課	—
椎茸種駒を購入した椎茸生産者に対する補助金	0円	廃止	▲60万円	新規参入や規模拡大に対する支援に重点を置き、廃止します。	農林課	—
平地地域に比べ、農業の生産条件が厳しい中山間地域に対する交付金	3,420万円	継続	▲105万円	例年どおり実施します。	耕地水産課	—

令和2年度必要な一般財源は6億5,493万円です。
前年度予算に対して、1億1,294万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
県が施行する農業土木事業に対する負担金	3,257万円	継続	+ 1,290万円	予定されている事業量を実施します。	耕地水産課	—
農用地、農業用施設の草刈りや泥上げ等に対する交付金	2,489万円	継続	▲30万円	例年どおり実施します。	耕地水産課	—
農道の維持補修にかかる生コンクリートを支給する経費 (ただし、地元負担があります)	330万円	縮小	▲385万円	緊急財政対策として予算額を縮小します。	耕地水産課	—
アサリ・ハマグリ資源回復のために有害魚を駆除する経費	67万円	縮小	▲32万円	継続してきた事業の効果を検証する年度とします。	耕地水産課	—
漁獲量の減少を補うために、クルマエビをはじめとする各種種苗の放流を行う経費	33万円	縮小	▲918万円	緊急財政対策として、予算額を518万円縮小しました。残りの一般財源削減額400万円は、基金を充当したためです。	耕地水産課	—
灘手公衆便所の維持管理にかかる経費	0円	休止	▲26万円	近年、潮干狩りができないこと、使用頻度が低いことから、使用休止します。	耕地水産課	—
水産まつり実行委員会に対する負担金	0円	見直し	(▲60万円)	産業祭・みかん祭りとの統合を検討し、必要額を補正予算にて対応します。	耕地水産課	31
農業集落排水事業特別会計に対する繰出金	1億4,775万円	縮小	▲1,429万円	改良事業費を抑制します。 また、給料カットも影響しています。	上下水道課	—
農林水産業費にかかる人件費	2億7,213万円	縮小	▲2,130万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	1億2,294万円	—	▲1,228万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は1億1,931万円です。
前年度予算に対して、2,785万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
商工会に対する補助金	1,000万円	縮小	▲140万円	自助努力をお願いし予算額を縮小します。	商工観光課	—
市をPRするための新聞、雑誌等への 広告費用	300万円	縮小	▲109万円	広告媒体の見直しを行います。	商工観光課	—
お年寄りや障害のある方にもドローン のVR技術で城下町散策の疑似体験 を行う費用	0円	廃止	▲106万円	事業実施主体を変更して実施します。	商工観光課	—
城下町杵築散策とひいなめぐり実行 委員会に対する補助金	100万円	見直し	▲25万円	実行委員会の事業費見直しにより削減します。	商工観光課	31
横岳自然公園の運営にかかる費用	777万円	見直し	▲308万円	横岳荘、ログハウスの使用料の見直し、開園 日及び期間の変更を行い削減します。	総務課 大田振興課	27
商工費にかかる人件費	7,199万円	縮小	▲434万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	2,555万円	—	▲1,663万円	—	—	—

令和2年度必要な一般財源は6億7,144万円です。
前年度予算に対して、1億846万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
城下町地区計画区域において建築物や工作物を新築、修繕することに対する補助金	0円	休止	▲250万円	令和元年度が計画最終年度となったため、伝統的建造物群保存地区保存整備事業に重点を置きます。	政策推進課	－
市道の維持補修にかかる生コンクリートを支給する経費	508万円	縮小	▲410万円	緊急財政対策として予算を縮小します。	建設課	－
道路愛護報奨金	6万円	縮小	▲704万円	緊急財政対策としてm単価を減額します。令和2年度は市債を活用します。	建設課	－
100m未満の道路の改良工事等にかかる経費	600万円	縮小	▲953万円	緊急財政対策として予算縮小します。新規の改良事業は見合わせます。	建設課	－
市営住宅の解体にかかる経費	0円	休止	▲1,711万円	事業の緊急性の観点から、当面の間事業を休止します。	建設課	－
河川プールの運営にかかる経費	0円	廃止	▲24万円	老朽化及び土砂の流入等の維持管理コストの増大が見込まれるため松尾川河川プールを廃止します。	建設課	－
下水道事業会計に対する補助金等	4億977万円	縮小	▲868万円	改良事業費を抑制します。また、給料カットも影響しています。	上下水道課	－
大内山都市下水路の樋門工事にかかる経費	0円	終了	▲1,621万円	令和元年度で事業終了しました。	上下水道課	－
土木費にかかる人件費	1億4,673万円	縮小	▲777万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	1億380万円	－	▲3,528万円	－	－	－

令和2年度必要な一般財源は6億3,419万円です。
前年度予算に対して、1,218万円の一般財源増額となりました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
ハザードマップ作成にかかる経費	0円	終了	▲965万円	令和元年度予算で事業終了します。	危機管理課	－
杵築速見消防組合に対する負担金	5億1,291万円	－	+3,175万円	例年、補正予算対応していた特別負担金（普通交付税公債費分）を当初予算に計上したため、増額となりました。	財政課	－
消防費にかかる人件費	5,102万円	縮小	▲831万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	7,026万円	－	▲161万円	－	－	－

令和2年度必要な一般財源は12億2,638万円です。
前年度予算に対して、2億6,262万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
教育長の給料、各種手当、共済費等	948万円	縮小	▲184万円	教育長の給料及び期末手当を20%削減します。	総務課	—
小学校のPCB廃棄物処理にかかる経費	0円	終了	▲1,940万円	令和元年度で事業終了しました。	教育総務課	—
市内各小、中学校、幼稚園の備品購入にかかる経費	689万円	見直し	▲1,044万円	各小学校、中学校、幼稚園担当者との協議の上、予算の見直しを行いました。	教育総務課	—
杵築中学校建設事業	207万円	継続	▲323万円	杵築中学校の建設事業は、令和元年度予算では完了します。 予算額は、9億4,755万円の減額です。	教育総務課	—
中学校体育連盟に対する補助金	52万円	見直し	▲55万円	補助対象経費の見直しにより、補助金を減額します。	学校教育課	—
中学校にて英語検定を受験する生徒に対する補助金	0円	休止	▲10万円	大学入試の英語の民間試験導入が延期されたことと緊急財政対策により補助を休止します。	学校教育課	—
市内各小、中学校に月1回ICT支援員を派遣し、教員の支援を行う経費	0円	休止	▲275万円	市長部局からの派遣も考慮しながら、緊急財政対策として休止します。	学校教育課	—
地域による学習活動や体験活動を支援する経費	133万円	縮小	▲138万円	影響度の観点から、緊急財政対策として事業縮小します。	社会教育課	—
図書館の運営管理にかかる経費	2,357万円	継続	▲870万円	新電力への切り替えで電気代が減額見込みとなりました。令和2年度は、緊急財政対策により基金を活用します。	図書館	—
文化体育館イベント実行委員会に対する補助金	0円	休止	▲50万円	文化体育館でのイベントを見合わせます。	文化・スポーツ振興課	—

令和2年度必要な一般財源は12億2,638万円です。
前年度予算に対して、2億6,262万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
きつき城下町資料館における企画展の実施にかかる経費	0円	休止	▲236万円	緊急財政対策として、企画展等の開催を見合わせます。	文化・スポーツ振興課	—
文化体育館の維持管理にかかる経費	2,287万円	継続	▲527万円	令和元年度に倉庫整備、屋根補修工事等が終了したため、減額となりました。	文化・スポーツ振興課	—
杵築中学校建設に伴う発掘調査の出土物等の整理、分析にかかる経費	77万円	縮小	▲278万円	規模を縮小して、引き続き実施します。	文化・スポーツ振興課	—
国指定史跡である小熊山古墳、御塔山古墳の民有地の公有化等にかかる経費	0円	休止	▲750万円	購入予定の民有地がありましたが、緊急財政対策として、購入を見合わせます。	文化・スポーツ振興課	—
文化財施設（杵築城や大原邸等）の管理を観光協会へ委託する経費	1,400万円	見直し	▲200万円	入館数が少ない、佐野家と重光家の火、水、木曜日を休館日とします。	文化・スポーツ振興課	28
エビネマラソン大会実行委員会に対する補助金	90万円	見直し	▲45万円	実行委員会による事業費見直しがあったため、削減します。	文化・スポーツ振興課	30
きつきジュニアACに対し、ジュニアスポーツ事業を委託する経費	0円	休止	▲26万円	実施主体が自助努力により継続することにより補助金を休止します。	文化・スポーツ振興課	—
B&G海洋センタープールの維持管理経費	0円	廃止	▲120万円	小中学生は自校プール、成人は「健康ふれあいプール」を利用いただくことによってプールを廃止します。	文化・スポーツ振興課	29
山香グラウンドの維持管理経費	0円	見直し	▲93万円	委託していた草刈り業務を職員で行います。	文化・スポーツ振興課	—

令和2年度必要な一般財源は12億2,638万円です。
前年度予算に対して、2億6,262万円の一般財源を削減しました。

内容	R2 一般財源額	分類	対前年度比較	削減内容	担当課等	詳細 ページ
市営山香水泳プールの維持管理 経費	0円	廃止	▲206万円	小中学生は自校プール、成人は「健康ふれあい プール」を利用いただくことによってプールを廃止 します。	文化・スポーツ 振興課	29
石丸体育館の維持管理経費	0円	一部 廃止	▲70万円	大田地域の3つの体育館のうち、利用者の 少ない石丸体育館を廃止します。	文化・スポーツ 振興課	—
教育費にかかる人件費	7億4,082万円	縮小	▲5,909万円	給料平均カット率5%としています。	総務課	20
その他	4億316万円	—	▲1億2,913 万円	—	—	—

詳細説明

- ・令和2年1月から一般職員の給料を平均5%カット※していますが、引き続きカットを継続します。※役職によりカット率が異なります。
- ・令和3年度及び令和4年度の新規採用を見送ります。

職員の給与等推移	H31 予算額①	R2 予算額②	削減額 ②－①	R3 見込額	R4 見込額③	削減額 ③－①
職員給与	22億4,036万円	21億953万円	▲1億3,083万円	20億8,200万円	20億6,286万円	▲1億7,750万円
退職手当	2億8,234万円	1億4,400万円	▲1億3,834万円	1億8,975万円	2億3,719万円	▲4,515万円
その他の人件費 ※1	5億3,362万円	5億1,175万円	▲2,187万円	5億913万円	5億593万円	▲2,769万円
会計年度任用職員人件費	4億8,789万円	4億1,644万円	▲7,145万円	3億9,560万円	3億1,970万円	▲1億6,819万円
計	35億4,421万円	31億8,172万円	▲3億6,249万円	31億7,648万円	31億2,568万円	▲4億1,853万円

職員数推移 ※2	H31.4 ①	R2.4	R3.4 見込数	R4.4 見込数②	削減人数 ②－①
一般職員	340 人	332 人	326 人	318 人	▲22 人
再任用職員 ※3	9 人	21 人	21 人	25 人	+16 人
会計年度任用職員 ※4	232 人	197 人	172 人	139 人	▲93 人
計	581 人	550 人	519 人	482 人	▲99 人

※1 その他の人件費とは、職員の社会保険料に係る負担金などです。

※2 一般職員数は、市立山香病院を除く、すべての職員の人数です。

令和3年度以降の試算は、定年退職した職員がすべて再任用職員になると仮定しています。

※3 平成25年地方公務員法改正によるものです。

公的年金の支給開始年齢が段階的に上げられることに伴い、60歳で定年退職した職員に無収入期間が発生しないよう雇用と年金の接続を図るために導入された制度です。現在は64歳まで4年間任用義務があります。

※4 会計年度任用制度は令和2年度から開始します。平成31年度は、嘱託員または臨時職員として任用となります。

- ・ 令和2年度の償還額は21億2,413万円です。※1
- ・ 金利の見直し等により、令和2年度の償還額を約1.1億円軽減しています。※2
- ・ 平成30年度末において、230.1億円の市債残高（借金）があります。※3
- ・ 今後は市債の借入額を毎年12億円以内とし、借入額が償還額を上回らないようにします。

	H31	R2	R3	R4
市債残高（前年度決算後）①	230.1 億円	239.9 億円	238.5億円	228.5 億円
償還額	22.7 億円	21.3 億円	22.8億円	23.1 億円
元金分 ②	21.6 億円	20.4 億円	22.0億円	22.4 億円
利子分	1.1 億円	0.9 億円	0.8億円	0.7 億円
借入額 ③	31.4 億円	※4) 19 億円	12億円	12 億円
市債残高（決算後）①－②＋③	239.9 億円	238.5 億円	228.5 億円	218.1 億円

- ※1 一般財源額ではなく予算額です。P.2との差300万円は一時借入金利子（借入予定はありません）があるためです。
- ※2 例えば、1,000万円の借金を10年で償還する場合、毎年の償還額は100万円＋利子となりますが、10年を20年に延長することにより毎年の償還額を50万円＋利子に抑え、単年度の償還額を減らすことができます。ただし、利子総額は増加します。（元金均等償還の場合）延長する期間、金額は違いますが、同様の方法で軽減を行います。
- ※3 一般会計の市債残高です。ケーブルテレビ特別会計分は含まれていません。
- ※4 令和元年度繰越事業分を含めているため、P.1の額と異なります。

ケーブルテレビ		開設年：平成15年度	
加入世帯率			
H29.3時点	96.13 %		
H30.3時点	95.95 %		
H31.3時点	95.79 %		
現行基本使用料		880円 ただし、福岡3波（FBS、TNC、TVQ）は映りません。	
変更後基本使用料 （令和2年7月から）		1,320円（440円の増額） 福岡3波（FBS、TNC、TVQ）放送のサービスを追加します。	

他市町の状況	基本料金	チャンネル内容
中津市	1,430 円	県内5 + 福岡5 + 自主1
豊後高田市	1,320 円	県内5 + 福岡5 + 自主1
国東市	770 円	県内5 + 福岡3 + 自主1
臼杵市	1,540 円	県内5 + 福岡3 + 自主2
豊後大野市	1,000 円	県内5 + 福岡3 + 自主1
竹田市	1,400 円	県内5 + 福岡3 + 自主1
佐伯市	現行 730 円 光化後 1,430 円	県内5 + 福岡3 + 自主1
九重町	1,100 円	県内5 + 福岡3 + 自主1

一般会計負担の軽減 (予算比較)		H31	R2
収入	基本使用料	1億494万4千円	1億4,681万7千円
	その他使用料等	1億5,305万8千円	1億5,555万3千円
	補助金	3億2,719万3千円	7,172万円
	基金繰入金	5,788万2千円	3,688万9千円
	その他	1,459万4千円	1,319万3千円
	市債（借金）	10億9,910万円	1億3,450万円
	一般会計繰入金	1億395万8千円	5,178万7千円
	計	18億6,072万9千円	6億1,045万9千円
支出	管理費等	2億7,259万6千円	2億7,325万9千円
	整備工事費等	14億8,417万5千円	2億2,872万3千円
	公債費（返済）	1億395万8千円	1億847万7千円
	計	18億6,072万9千円	6億1,045万9千円

使用料の見直しにより約4,000万円の収入増を図ります。
※4月から6月までは現行料金のため、9か月分の影響額です。

平成31年3月末で、ケーブルテレビにかかる
市債残高（借金額）は3.5億円あります。

令和元年及び2年度の施設更新にて、
さらに約13.3億円の借入（借金）をする見込みです。

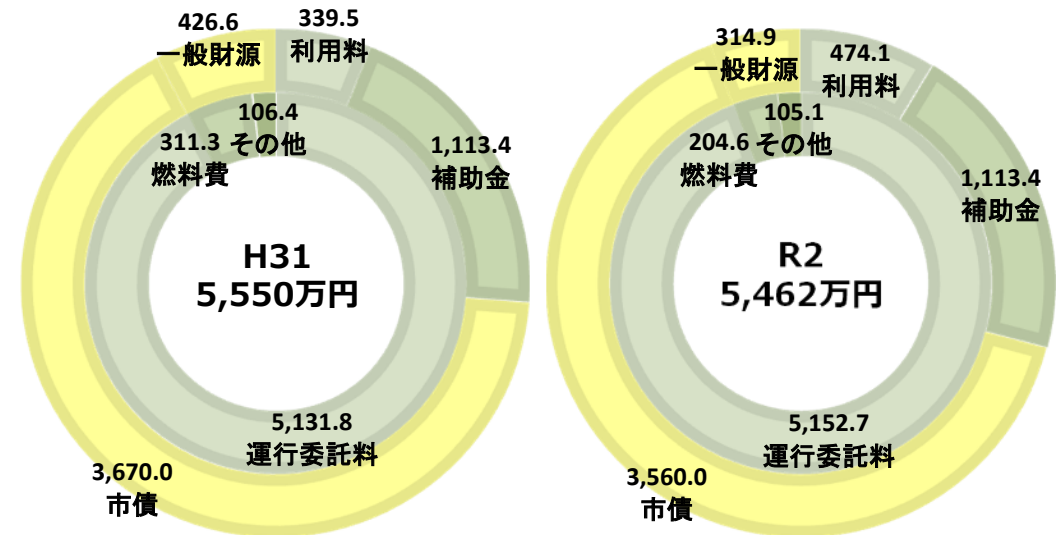
公債費（返済額）は、現在の約1億円から約1.1億円
の間で推移し続けます。

コミュニティバス運行事業		開始：平成18年度
利用料金		
現行	100 円	
令和2年5月から	200 円	
値上り幅	100 円	

利用者数	H28	H29	H30
循環コース	19,090 人	18,263 人	18,605 人
杵築コース	5,701 人	4,764 人	3,686 人
山香コース	3,848 人	3,436 人	4,083 人
大田コース	3,954 人	3,053 人	2,804 人
計	32,593 人	29,516 人	29,178 人

収支の改善（予算比較）		H31	R2
収入	利用料	339万5千円	474万1千円
	補助金	1,113万4千円	1,113万4千円
	市債（借金）	3,670万円	3,560万円
	計 ①	5,122万9千円	5,147万5千円
支出	運行委託料	5,131万8千円	5,152万7千円
	燃料費	311万3千円	204万6千円
	その他	106万4千円	105万1千円
	計 ②	5,549万5千円	5,462万4千円
一般財源（②－①）		426万6千円	314万9千円

利用料の見直しにより約135万円の収入増を図ります。
※4月までは現行料金のため、11か月分の影響額です。

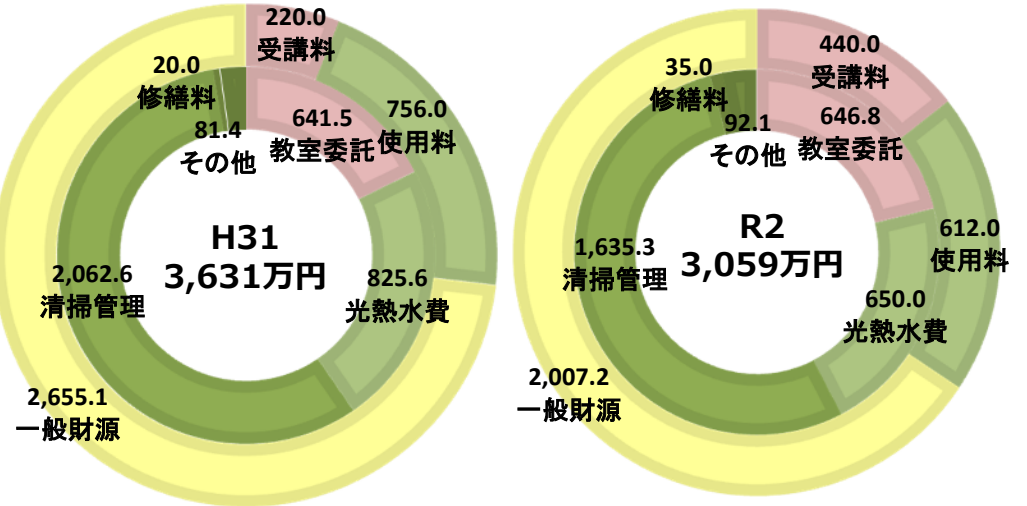


健康ふれあいプール		開設年：平成24年度	
利用者数			
H28	28,804 人		
H29	27,538 人		
H30	28,241 人		
現行開館時間		定休日 毎週月曜日、12/29～1/3 午前10時～午後9時（11時間）	
変更後開館時間 （令和2年7月から）		定休日 毎週月、火曜日、12/29～1/3 午前10時～午後8時（10時間）	

使用料等の見直し			現行料金	改正料金 R2.7～	値上り幅
一般	市内の方	1回	330円	440円	110円
		11回	3,300円	4,400円	1,100円
	市外の方	1回	440円	550円	110円
		11回	4,400円	5,500円	1,100円
小・中 学生	市内の方	1回	160円	220円	60円
		11回	1,600円	2,200円	600円
	市外の方	1回	220円	330円	110円
		11回	2,200円	3,300円	1,100円
水中運動教室受講料		9月	11,000円	22,000円	11,000円

収支の改善（予算比較）		H31	R2
収入	水中運動教室受講料	※1) 220万円	440万円
	使用料	756万円	612万円
	計 ①	976万円	1,052万円
支出	水中運動教室委託	641万5千円	646万8千円
	光熱水費	825万6千円	650万円
	清掃・管理等委託	2,062万6千円	1,635万3千円
	修繕料	20万円	35万円
	その他	81万4千円	92万1千円
	計 ②	3,631万1千円	3,059万2千円
一般財源（②－①）		2,655万1千円	2,007万2千円

- ・ 使用料の見直しにより約75万円の収入増を図ります。
 - ・ 定休日増や開館時間を短くすることで、約570万円の支出減を図ります。
- ※1) 決算見込は330万円と予想より増加傾向です。
※2) 4月から6月までは現行料金のため、9か月分の影響額です。

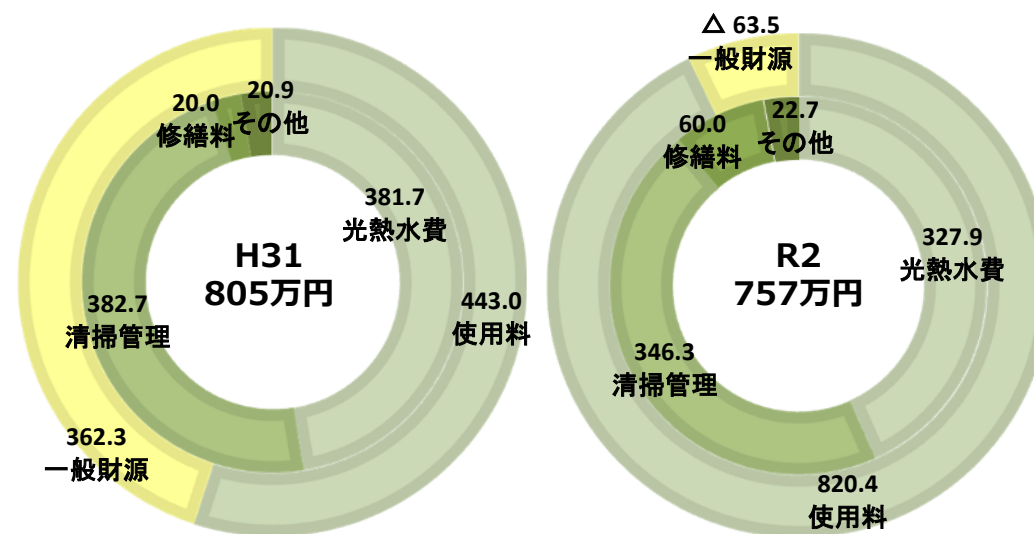


健康福祉センター温泉場		開設年：平成3年度	
利用者数			
H28	42,785 人		
H29	46,492 人		
H30	46,678 人		
現行開館時間		定休日 毎週月曜日、12/31、1/1 午前10時～午後9時（11時間）	
変更後開館時間 （令和2年7月から）		定休日 毎週月曜日、12/31、1/1 正午～午後9時（9時間）	

使用料の見直し			現行料金	改正料金 R2.7～	値上り幅
一般	市内の方	1回	110円	220円	110円
	市外の方	1回	220円	330円	110円
小・中学生		1回	50円	110円	60円

- ・ 使用料の見直しにより約370万円の収入増を図ります。
 - ・ 定休日増や開館時間を短くすることで、約50万円の支出減を図ります。
- ※4月から6月までは現行料金のため、9か月分の影響額です。

収支の改善（予算比較）		H31	R2
収入	使用料	443万円	820万4千円
	計 ①	443万円	820万4千円
支出	光熱水費	381万7千円	327万9千円
	清掃・管理等委託	382万7千円	346万3千円
	修繕料	20万円	60万円
	その他	20万9千円	22万7千円
	計 ②	805万3千円	756万9千円
一般財源（②－①）		362万3千円	▲63万5千円

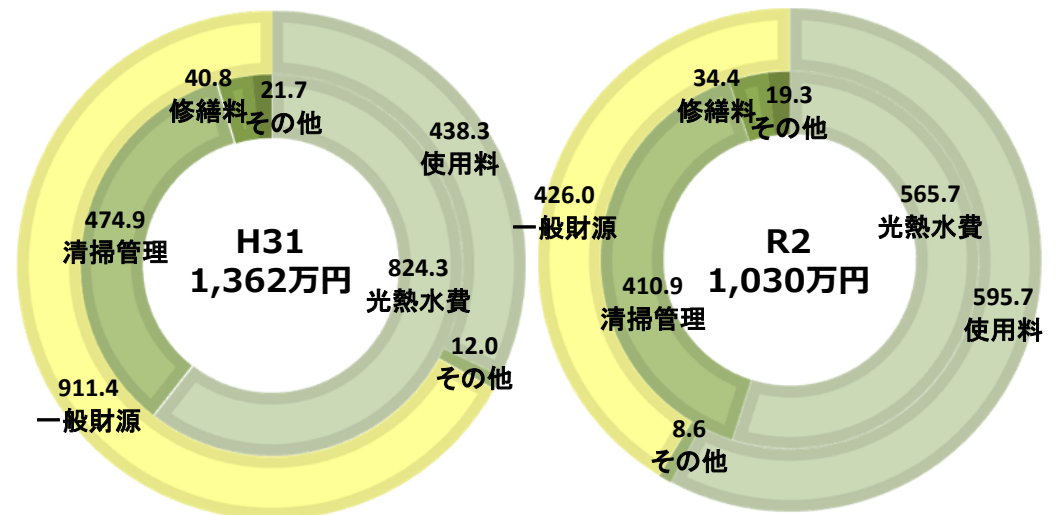


山香温泉センター		開設年：平成4年度	
利用者数			
H28	26,842 人		
H29	25,793 人		
H30	24,371 人		
現行開館時間		定休日 毎週月曜日、12/31、1/1 午後2時～午後9時（7時間）	
変更後開館時間 （令和2年7月から）		定休日 毎週月、木曜日、12/28～1/3 午後4時～午後8時（4時間）	

使用料の見直し			現行料金	改正料金 R2.7～	値上り幅
一般	市内の方	1回	220円	330円	110円
		12回	2,200円	3,300円	1,100円
	市外の方	1回	330円	440円	110円
		12回	3,300円	4,400円	1,100円
小・中学生		1回	110円	110円	0円
		12回	1,100円	1,100円	0円

収支の改善（予算比較）		H31	R2
収入	使用料	438万3千円	595万7千円
	その他	12万円	8万6千円
	計 ①	450万3千円	604万3千円
支出	光熱水費	824万3千円	565万7千円
	清掃・管理等委託	474万9千円	410万9千円
	修繕料	40万8千円	34万4千円
	その他	21万7千円	19万3千円
	計 ②	1,361万7千円	1,030万3千円
一般財源（②－①）		911万4千円	426万円

- ・ 使用料の見直しにより約150万円の収入増を図ります。
 - ・ 定休日増や開館時間を短くすることで、約330万円の支出減を図ります。
- ※4月から6月までは現行料金のため、9か月分の影響額です。

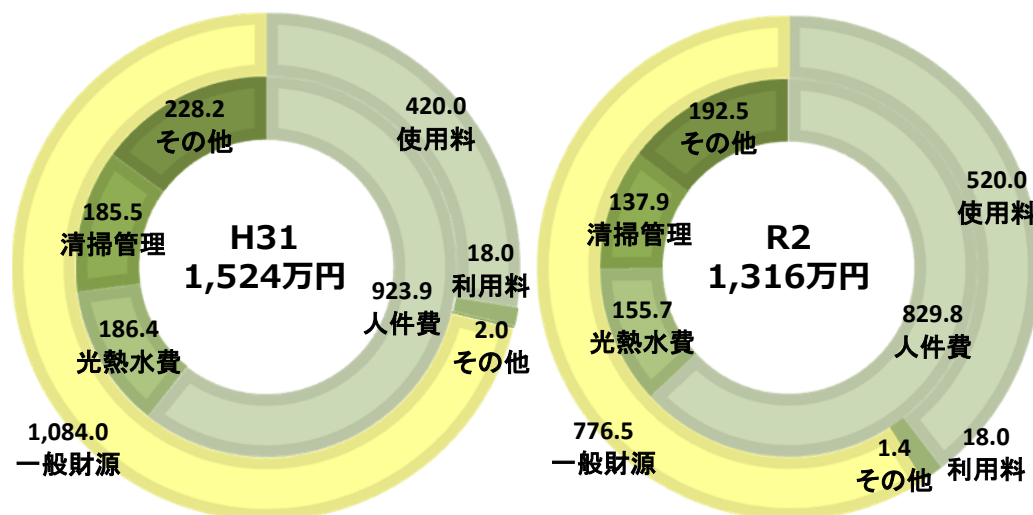


横岳自然公園		開設年：平成4年度
利用者数		
H28	4,507 人	
H29	4,412 人	
H30	5,298 人	
現行開館時間		定休日 毎週火曜日 オフシーズン なし
変更後開館時間 (令和2年4月から)		定休日 毎週火～木曜日 オフシーズン 12月～3月

使用料の見直し		現行料金	改正料金 R2.7～	値上り幅
横岳荘	おとな	3,300円	3,850円	550円
	こども	2,200円	2,750円	550円
ログハウス	くぬぎ	6,600円	9,350円	2,750円
	けやき	6,600円	9,350円	2,750円
	かえで	27,500円	33,000円	5,500円
	もみじ	38,500円	41,800円	3,300円
	うめ	16,500円	22,000円	5,500円
	さくら	16,500円	22,000円	5,500円
テントフリーサイト		550円	1,650円	1,100円

収支の改善（予算比較）		H31	R2
収入	使用料	420万円	520万円
	物品利用料	18万円	18万円
	その他	2万円	1万4千円
	計 ①	440万円	539万4千円
支出	人件費	923万9千円	829万8千円
	光熱水費	186万4千円	155万7千円
	清掃・管理等委託	185万5千円	137万9千円
	その他	228万2千円	192万5千円
	計 ②	1,524万円	1,315万9千円
一般財源（②－①）		1,084万円	776万5千円

- ・使用料の見直しにより約100万円の収入増を図ります。
 - ・定休日増やオフシーズンを設けることで、約200万円の支出減を図ります。
- ※4月から6月までは現行料金のため、9か月分の影響額です。
ただし、歳入はオフシーズンがあるため、5か月分の影響額です。



佐野家・重光家		
H30入館者数		
	佐野家	重光家
月	505 人	310 人
火	417 人	269 人
水	463 人	272 人
木	508 人	420 人
金	571 人	271 人
土	793 人	506 人
日	1,206 人	549 人
計	4,463 人	2,597 人



入館者数	H28	H29	※H30
杵築城	35,535 人	33,339 人	33,334 人
大原邸	30,276 人	28,158 人	31,145 人
磯矢邸	9,483 人	9,192 人	10,206 人
一松邸	9,290 人	8,674 人	11,450 人
城下町資料館	7,263 人	8,241 人	11,250 人
佐野家	3,855 人	3,612 人	4,463 人
重光家	2,304 人	2,060 人	2,597 人
計	98,006 人	93,276 人	104,445 人

※H30は国民文化祭が開催されたため、
全体的に入館者が増えています。

休館日の見直し	佐野家	重光家
現行休館日	年末年始	年末年始
変更後休館日	年末年始 毎週火・水・木曜日	年末年始 毎週火・水・木曜日

上記施設経費	H31	R2
指定管理委託	1,600万円	1,400万円
清掃・管理等委託	1,779万3千円	1,518万円
計	3,379万3千円	2,918万円

**入館者が少ない佐野家・重光家の火・水・木曜日を休館日とし、
指定管理委託料を200万円削減します。
(上記施設の利用料は委託先の観光協会の収入となります。)**

B&G海洋センタープール		開設年：昭和56年度
H30実績（36日間）		
H30利用者数	422 人	
うち高校生以上	131 人	
うち中学生以下	291 人	
開館日・時間		7月中旬から8月末日まで 9：30～11：45 13：30～16：45 休館日：毎週月曜日

市営山香水泳プール		開設年：平成元年度
H30実績（36日間）		
H30利用者数	878 人	
うち高校生以上	270 人	
うち中学生以下	608 人	
開館日・時間		7月中旬から8月末日まで 9：30～11：45 13：30～16：45 休館日：毎週月曜日

収支（平成30年度実績）		
収入	使用料	6万円
	計 ①	6万円
支出	賃金	40万円
	消耗品費	15万円
	光熱水費	52万円
	修繕料	34万円
	手数料	4万円
	施設管理委託料	2万円
	計 ②	147万円
一般財源（②－①）		141万円

収支（平成30年度実績）		
収入	使用料	12万円
	計 ①	12万円
支出	賃金	41万円
	消耗品費	12万円
	光熱水費	56万円
	通信運搬費	4万円
	手数料	3万円
	施設管理委託料	81万円
	計 ②	197万円
一般財源（②－①）		185万円

市は各イベント実行委員会等に補助金等を交付し、実行委員会がイベント業務を行っています。
イベントによっては、実行委員会の事務を市職員が行っており、間接的に人件費負担も生じています。

イベント	開催時期	R2 補助額	R1 補助額	R1イベント予算規模等	市負担 割合	開催
やまが温泉エビネ祭り	4月25、26日	65万円	65万円	市補助金のほか、JAからの協賛金、出店者からの負担金、イベント売り上げ金があり、約240万円の予算で開催しています。	27%	例年どおり開催します。
山香エビネマラソン大会	4月26日	90万円	135万円	市補助金のほか、市内企業からの協賛金、参加料があり、約690万円の予算で開催しています。	20%	例年どおり開催します。
ツール・ド・国東	5月3日	0円	0円	平成30年度から交付しておらず、イベントの収益により開催されています。	0%	—
きつきお城祭り	5月4、5日	300万円	300万円	市補助金のほか、商工会から補助金、青年会議所等からの協賛金があり、約550万円の予算で開催しています。	55%	杵築の看板祭りでもあるため、縮小せず実施します。
横岳夏まつり	8月上旬	0円	48万円	市補助金のほか、地元協賛金等があり、約80万円の予算で開催しています。	60%	協賛金を募る等、地元実行委員会の働きにより事業費を精査し、必要額を補正予算対応します。
おっとりしゃ山香夏祭り	8月上旬	0円	122万円	市補助金のほか、JAや企業等からの協賛金があり、約210万円の予算で開催しています。	58%	当初予算には計上していませんが、必要額を補正予算対応し開催します。
納涼花火大会	8月中旬	250万円	250万円	大分合同新聞社に交付しています。市補助金のほか、広告協賛、大分合同新聞社自己資金があり、約340万円の予算で開催しています。	74%	例年どおり開催します。

市は各イベント実行委員会等に補助金等を交付し、実行委員会がイベント業務を行っています。
イベントによっては、実行委員会の事務を市職員が行っており、間接的に人件費負担も生じています。

イベント	開催時期	R2 補助額	R1 補助額	R1イベント予算規模等	市負担 割合	開催
鬚自慢コンクール (どぶろく祭りにおけるイベント)	10月17日	0円	45万円	市の補助金のみで開催しています。	100%	どぶろく祭りは地元により例年どおり開催されます。鬚自慢コンクールは、どぶろく祭りと並行して行っていましたが、出場者の固定化などマンネリとなっているため見直します。
観月祭	10月ごろ	0円	0円	補助金等の交付は行っておらず、観光協会の自己資金等で開催しています。ただし、観光協会に対して補助金は交付しています。	0%	—
城下町健康 歩行ラリー大会	10月下旬	80万円	80万円	市補助金のほか、参加料があり、約120万の予算で開催しています。	67%	例年どおり開催します。
山香ふるさと祭り	11月第2 土、日	0円	300万円	市の補助金のほか、出店料等があり、約360万円の予算で開催しています。	83%	当初予算には計上していませんが、必要額を補正予算対応し開催します。
水産まつり、 はも・ハモ祭り	11月中旬	0円	60万円	市の負担金のほか、漁協等からの負担金や協賛金、出店料があり、約86万円の予算で開催しています。	70%	当初予算には計上していませんが、必要額を補正予算対応し開催します。 ※産業祭・みかん祭りとの同時開催を検討
産業祭・みかん 祭り	1月中旬	0円	95万円	市の負担金のほか、JA等からの負担金、出店料があり、約138万円の予算で開催しています。	69%	当初予算には計上していませんが、必要額を補正予算対応し開催します。 ※水産まつり、はも・ハモ祭りとの同時開催を検討
城下町杵築散策 ひいなめぐり	2月中旬～ 3月中旬	100万円	125万円	市の補助金のほか、政経懇談会からの負担金、ひいなめぐり会場や飲食店からの協賛金があり、令和2年度は約140万円の予算で開催予定としています。	71% ※	広告料等を見直したため、補助減額となっていますが、例年どおりの規模で開催します。

※ひいなめぐりについては、令和2年度負担割合見込です。

用語	説明
一般会計	福祉や道路、教育などの市役所の基本的な仕事に関する収入・支出を経理する会計です。
特別会計	特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。
一般財源	使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。 市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。
基金	特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金又は財産です。
財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金です。
議会費	議会の運営などの経費です。
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などの経費です。
民生費	高齢者や障がい者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などの経費です。
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などの経費です。
農林水産業費	農林業、水産業の振興などの経費です。
商工費	商工業の振興などの経費です。
土木費	道路、河川、公園、市営住宅などの整備、維持管理の経費です。
消防費	消防、火災予防、防災などの経費です。
教育費	学校教育、生涯学習、図書館などの経費です。

用語	説明
人件費	議員の報酬、職員の給与などの経費です。
扶助費 ふじょひ	社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者等に対して行っている様々な支援に要する経費です。
公債費 こうさいひ	借りたお金（市債）の返済の経費です。
義務的経費	支出が義務づけられ、簡単に削減することができない経費です。 人件費、扶助費、公債費から構成されています。
普通建設事業費	道路、橋、学校など、公共施設・公用施設の新増設の建設経費です。
災害復旧事業費	災害が起きた際の復旧経費です。
投資的経費	社会資本の整備に要する経費です。 普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されています。
物件費	消費的性質をもつ経費です。 旅費、交際費、需用費などがこれにあたります。
補助費等	他の団体（一部事務組合など）や民間に対して、行政上の目的により交付される現金的給付にかかる経費です。
繰出金	一般会計から特別会計に資金を移すことです。



こちらをクリックしていただくと
ご案内のページに移行します。

杵築市の財政状況が極めて厳しい状況にある中、ふるさと納税は、歳入増加を望める数少ない事業になります。

ありがたいことに、令和元年度のふるさと納税は
4億円の収入見込となっています。

※1月時点での見込みです。

※前年度決算+約2億3,000万円

※ふるさと納税は、寄附額の半額をふるさと「きつき」の

- ①「人材育成・確保」②「環境・景観の保全、文化継承」
- ③「安全・安心して暮らせるふるさとづくり」に関わる事業に活用させていただいております。

市民の皆様が、市外に居住するご親戚やご友人の方々に杵築市へのふるさと納税をお願いしていただければ、それは本市の大きな力となります。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ふるさと納税とは

生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度です。
手続きをすると、原則寄附金のうち2,000円を除いた金額が
所得税の還付、住民税の控除を受けられます。

●ふるさとチョイス

●楽天市場ふるさと納税

●さとふる

